

護衛艦 「いずも」 を見学

神奈川地方協力本部横須賀地域事務所（所長 大里3海佐）は、5月1日（金）、宮ノ下老人クラブ（23名）の艦艇見学を支援した。

横須賀地方総監部逸見岸壁に係留中の「いずも」を見て、見学者たちはその大きさに仰天。その様子のまま、艦内では広報担当者の説明に、熱心に耳を傾けていた。また、見学当日は祝日を控えた日程であったため、偶然にも満艦飾の準備予行を見ることができ、見学者は喜びを隠せなかった。

横須賀地域事務所は、「今後も、積極的に部隊見学を支援し、より多くの人々に自衛官の任務について啓蒙していききたい」としている。



護衛艦「いずも」の見学



満艦飾

東海大学学生に自衛隊を紹介

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平1陸尉）は、6月10日（水）、東海大学政治経済学部政治学科の3年生14名に対し、「自衛隊の概要」と題し、講話を行った。

講話では、日本を取り巻く安全環境や国際貢献活動の状況、自衛隊の編成・任務及び国内での活動状況、更に、自衛隊の日常生活の様子などを写真を使って、分かりやすく説明を行った。参加者からは、「自衛隊には多種多様な職種があり、ニュースやメディアの情報からは得られない実情を知ることができ、非常に有意義であった」という感想が聞かれた。

平塚地域事務所は、「近い将来、この中から一人でも自衛官を志願してくれることを期待したい」としている。



入隊希望者が募集相談員と海上自衛隊見学

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平1陸尉）は、6月12日（金）、海上自衛隊第2術科学校及び第2潜水隊群で行われた、入隊希望者（6名）及び平塚自衛官募集相談員等（15名）の基地見学を支援した。

第二術科学校では、資料館の見学を行い、旧軍からの貴重な資料を見ながら丁寧な説明に熱心に耳を傾けていた。その後、学校庁舎前において記念撮影を行い、楽しみにしていた「横須賀海軍カレー」に舌鼓を打っていた。午後は、第2潜水隊群に移動し、潜水艦の研修を行ったが、とても狭い環境の中で長期の任務を遂行する隊員に、参加者は、激励の言葉をかけていた。最後に、潜水艦をバックに記念撮影を行い、基地を後にした。

平塚地域事務所では「今後も、このような部隊見学を支援し、募集広報及び防衛基盤の拡充に努めたい」としている。



第2術科学校前で記念撮影



潜水艦の前で記念撮影



資料館見学の様子